

平成20年度 NPOと行政の協働会議 第2回全体会

日 時： 平成20年7月15日(火) 13:30～15:30

場 所： 【NPO部会】坂本、黒田、野崎、山崎、能島、河口、柳田、前川(敬省略)
【行政部会】横山、足達

欠席者： 田中、畑、鬼本、藤原、三木

事務局： 小森、高橋、山下、福島、秋澤、荻田、北村、佐伯、藤原

オブザーバー： 実吉、荻野

1 開会挨拶(小森)

現在、プラザはボランティア基金の募集中である。大筋は昨年同様だが、デザインが一新された。なお今回、NPOの公開性をより高めるため、若干の変更を加えている。別紙の通り、監査状況の報告を一項目増やした。業務監査と会計監査についてのチェック項目が記されており、団体の理事長と監事の署名入りで提出してもらうこととなっている。また右ページには、現地調査事前資料として、総会や理事会の開催や、役員の変更を伺う項目として入れている。本資料は、大口助成だけが対象となっている。

もう一つ、内閣府委託調査「豊かな公を支える資金循環システムに関する実態調査」を資料として配っている。こちらで行っている内容と重なっている部分もあるが、参考にしてもらいたい。もしここでの審議の経過を報告するようであれば、このような調査研究を踏まえた提案でなければ、なかなかアピールする機会は厳しいのではないかと考えている。

2 (1)各部会からの報告及び協議

《NPO評価部会》

今年度に入ってからまだ大きな動きはない。平成20年度の事業の検討素案として、昨年度末の報告書に少し手を加えて、本日の資料として用意した。

評価の方法などについては相当な議論を交わした。その中で第三者評価を発展させた形のものが出来ればと考えている。地域住民や企業がNPOを評価するために情報開示をするという目的であれば、やっていく必要がある。情報開示についてどういう方法があるのかというとガイドラインの作成になるだろう。しかし情報、各NPOが県や内閣府に報告しており、それぞれのホームページで公開されている。内閣府はPDF形式で、設立当初の住所や氏名といったかなり詳しい内容が出ている。県もいずれPDF等で公開されるということになれば、今よりもさらに詳しく分かるようになる。

このことから、部会で検討するからには、どのような情報開示がNPOの発展にとってよいのかを検討してきている。ひとつはNPOがこんな活動をやっているなど知って欲しいこと、そしてもうひとつは地域住民が知りたいことである。地域住民や企業は何を知りたがっているのかアンケート調査をとって、知って欲しい側と知りたい側をうまく合わせたガイドラインを検討していきたい。

アンケートの素案、基本になるシートについては本日の資料に用意している。また、監事活動の実態調査と支援策の検討も課題として出てきているので併せて考えていき

い。このように昨年の部会で積み上げてきたものを踏まえて、今年度も行っていく予定である。

最終的なアウトプットについてもう少し詳しく教えて欲しい。

県は既に情報を閲覧できる状態にしているが、内閣府のようにPDFにするのであれば、やり方も少し変えなければならないので、その点も考慮していかなければならない。また資料にもつけているが、各団体が基本情報を統一フォーマットで出してはどうかということや、企業が知りたがっているところも調査したいと考えている。

《協働事業評価部会》

今年度はまだ会合が開催できていない。前回の会議でも話したが、NPO評価部会と一部を一緒に行う予定。

アウトプットについては今年度で報告書を作成するのが案件。昨年度に協働事業評価シートを作成しているので、シートの見直しも含めてNPO評価部会のものとすり合わせて検討していきたい。

他の部会よりも一年先にスタートしているが、最終報告はNPO評価部会と一緒にさせてもらおうと考えている。

《委託事業部会》

昨年度は6回の会合を開催し、議論は盛り上がっているいろいろな討議が出る中で、他県のモデルをみながら、ルールブックの作成も検討してきた。そして今期はどうするかということ今年度最初の部会で討議した。一つのモデルとしてのルールブックを作りたいという思いはあるものの、財源的なことや、一部会で客観的なものを作ることの難しさなどの課題も多く、やり方の見直しも含めて話し合っている。また、昨年一年間のまとめから課題をみたところ、行政担当課がなかなかNPOのことを理解していない現状があり、理解してもらうための広報活動がもっと必要ではないかという意見もでた。たとえば、出前会議や地域のイベントに出て発表参加していくなどの方法を用いて、NPOと民間企業はどう違うのかを発信する。NPOの特性が分かるようなツールを作るなども今年度の検討課題としたいと考えている。

《つながり部会》

5月14日に第2回目の部会を芦屋市で行い、市内16団体が集まり議論が活発に行われた。第3回目は従来のメンバーで6月24日に行い、今後の部会のあり方と、芦屋市のNPOセンターと市社会福祉協議会との関係性の中で、つながり部会としての役割を話し合った。今後も芦屋市をモデルとして何かやっていきたい、また、教育委員会が部会のメンバーに入っているの、教育の面からのニーズを捉えて考えていきたいなどの意見が出た。そして、11月21～22日に芦屋市民フェスタが行われるので、一緒に何か出来ればと考えているが、まずは協働会議がどのような役割で参画してほしいのかを芦屋市側で検討してもらっている。

今後については、継続してさらに発展させて芦屋市をモデルにヨコの関係性を繋げていきたい。幹事はこのまま同じメンバーでいくが、もっと裾野を広げてオブザーバーの

参加も増やしたい。但し、参加希望者は事前に連絡してもらい、直近の部会メンバーで話し合っただけの部会から参加してもらうような方法を考えている。

6月25日の芦屋市内の第2回会合で7団体が集まった。前は芦屋市の課題は何かという大きなところから議論して詰めていき、今回は次世代のリーダーを育てるにはどうしたらよいか、どんなことができるのかというテーマが最終的に持ち上がり、次回8月に継続して話し合っていく予定となった。また、昨年4月に市民参画条例が施行されてから1年が経ち、「市民参画」ということばが定着してきている。また、今回できた会とは別に民間と行政の協働には市民活動センター主催のラウンドテーブルもあるが、地縁系の団体はまだ参加していない。しかし、この会が市社会福祉協議会と芦屋NPOセンターが互いに顔に見える形でのゆるやかな接着剤となっており、その効果が少しずつ出てきている。11月の市民フェスタはまだ具体的な内容はまだ詰めていないが、県の協働会議に出前会議等何らかの形で来て欲しいと市のほうからの希望が出ているが、オーダーについては市で考えてもらうよう伝えている。

つながり部会では河口氏と芦屋市社会福祉協議会の職員がうまく接着剂的な働きを行ってくれている。

芦屋市でやっているのは、そのような前向きな人たちがいたから。テーマ型とエリア型のギャップは他市でもある問題。芦屋市が他の地域のモデルになってくれるようになってほしい。

《意見交換》

今回、行政側の参加が少ないため。次回はもっと参加を呼びかけていきたい。

アウトプットの話が出たが、現在の部会体制は2年計画で行っている。せっかく行政が入っているので、はっきりしたものを残せるよう各部会でやって欲しい。行政とのすれ違いがあれば、それをしっかりと整理して、次のステップに繋がられる終わりがたをしてもらいたい。

参加については、委託部会では運営委員以外のNPOも参加しているが、他の部会でも同じようにもっとオープンな形にしてはどうか。多くのNPOが行政の担当者と話し合えることはこの協働会議の目的からいっても大事でもある。

また、部会でやっていることをもっと知ってもらうための広報を工夫する必要がある。

一昨年までのケースを考えると参加を全くフリーにするのはどうか。やはりワンクッションおいて、部会で検討してから入ってもらう方がいいと思う。ただ、部会のメンバーを広げるといふ方向性は賛成である。

最低限のリスク管理は必要であるが、あまり過剰にならないようにしないとけない。年に数回しか行っていない会議なので1回でも欠席されると痛い。その1回のパスがないようにしてもらうことが大事である。

議事録の件についてホームページに載せているが、発言録が全てではない。また共有したことや微妙なニュアンスまで伝えられないため、参加していない者は読んでも分かりにくい。誰が出席し、議題について何を決定し、何を残したかという要点だけにした方がよいのではないか。

途中から参加してもついていけない。裾野を広げる、オブザーバー参加は可能など当

初決められている方向でやってみてどういう成果が出せるかでよいと思う。

各部会のやり方にもよる。誰でも参加できる開催形式の部会であれば比較的入りやすいが、短期間で成果を出さなければならないような部会は途中から入っても足並みがうまく揃えられない。やはり各部会で判断してもらったほうがよい。但し、年度当初は裾野を広げ、誰でも参加できるチャンスを作るようにしてもらいたい。

議事録について、要点や結論をホームページに載せるのであれば、会議で今回のまとめを最後にきちんとしないと分かりにくいものになってしまう。会議の最後にこの作業をすることが大切。

先程、議論があったように何らかの形で参加が制限されるようになってしまうのであれば、会議の内容はなるべく公開してほしい。この協働会議は基本的に全NPOに呼びかけて、その中で少数の者が参加しているからには説明責任はある。単に決まったことだけをホームページに載せるのは難しいのではないか。なお、議事録についてはきちんと責任ある方に事前にチェックしてもらう必要がある。

全体会の議事録は、プラザとブレンヒューマニティーの事務局で作成している。前回の全体会議事録をホームページで公開する際のチェック作業でご迷惑をおかけしたことをお詫びしたい。改めて全体会議事録の公開についての意見と、また、各部会については自主運営でそれぞれが議事録なり要点をまとめていると思うが、どこまで情報公開するのか併せて検討してもらいたい。

全体会については議論のプロセスが大事なので、議事録はホームページに載せることとする。また、公開前に各幹事へメールリングリストで配信して全員が責任もって確認してもらおうこととする。

部会の議事録については、つながり部会は持ち回りでとってきた。他の部会はどのようにしているか。

持ち回りにすると、とる人によって議事録の取り方が一定しない。また、部会は自由に発言してもらうことが大事なので、議事録をとって出すかは各部会に任せてみてはどうか。

NPO 評価部会では、自然発生的にやっているのでも、特にしっかりしたものを持っていない。部会もプロセス(議事録)は大事だが、成果を共有することに重点をおきたい。

部会によっては、毎回の物事を決定する議論よりも、あるテーマについて論点や課題をどこまで深めたかのほうが大事なものもある。中間のとりまとめや最終報告を出すのでよいのではないか。

議論の結果、部会の議事録については各部会の判断に任せることとする。また毎回、会議の最後にはまとめをしっかりと行う。NPO事務局にしてもらってはどうか？

せっかくホームページがあるので、少なくともいいから何かアップできればと思う。全国的にもこのような取り組みをしている会議の例は少なく、こうして会議の内容を公開できる場がある。公開の仕方については各部会で自由に決められるということはいいと思う。

公開して流れが分かるようにする仕組みはやる意味がある。

(2)出前出張会議について

つながり部会で関わっている芦屋市の11月のイベントや、加古川市の方でも同じく11月のイベントに来て欲しいという声がある。また、今年は部会の2年目の最終年でもあることから、今までやってきたことを伝えられるようなフォーラム、出前出張会議を拡張したような場を考えるのもよいと思うが、参加者からいろんな声を聞いて改革してもらえることもできるのではないか。時期的に11月だと中間報告になる。

2年間のまとめ的なことをするのであれば、スタートした淡路から原点に戻って行ってみてはどうか。

多くのNPOの人たちに来てもらう必要がある。となると、交通の便の良いところを考えたいほうがよい。

姫路市でも11月に市民フォーラムがあるが。

部会のほうでそれまでにまとめが出来るのか検討することが先ではないか。

10~11月はイベントが集中している。集客のことを考えるとこの時期はしんどいのではないか。

報告をするからには部会でのまとめをどういう位置づけにするかはっきりさせておく必要がある。部会はワーキングの場で成果物を出すのはやはり全体会。

中間報告なら部会内で合意をきちんととっていれば出してもよいと思う。

中身が大切。11月というイベントの多い時期では行事に追われて、中身が十分詰められるかが心配。

となると、2月あたりが適当ではないか。

とりあえず、11月21~22日は芦屋から企画があがってくる。それに則って協働会議でどうするか検討したい。

つながり部会が参加して何かをするのが現実的ではないか。この部会は主旨からいって中間報告などよりも、年度末か年度始めに最終報告をして検証してもらう方がよい。

つながり部会が関わっている芦屋市の市民フェスタには出前出張会議として参加するが、協働会議としても各メンバーにはこの日は予定しておいてもらって、できるだけ参加してもらいたい。あとの部会は2月にやることとする。どのような形にするかは、今後の議論とする。

3 その他

(1) その他

PRになるが、北播磨市民活動センターが事務局を担っている「小野まつり」が8月16~17日に行われる。参加する踊りのチームは過去最多となった。昔あった兵庫よさこいの倍くらいの規模くらいになる。

《まとめ》

- ・部会の活動について、成果物のまとめをどうするか整理できた。
- ・オブザーバー参加については裾野を広げるということでは良いが、参加までのプロセスについては各部会の判断に任せる。
- ・全体会の議事録については、プラザのホームページに載せる前にメーリングリストを使って配信するので各自確認しておくこと。

- ・部会の議事録については各部会に任せるが、部会がどのようなことをやっているのか外部に分かるようにした方がよい。
- ・11月の芦屋市への出前出張会議はつながり部会でとりまとめて行うが、他の部会は2月に報告の形を考えること。
- ・司会については、今後はNPOと行政の持ちまわりで担当する。但し、誰が司会をするかがそれぞれの側で決める。次回は行政側。

(2)次回開催予定

日時：9月16日(火)13時30分~15時30分

場所：ひょうごボランタリープラザ セミナー室